

# オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 福岡県

【学校名】 うきは市立山春小学校

【テーマ】 I    II    III    IV    V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

## 【実践研究タイトル】

オリンピックの価値を学ぶ教育活動

## 【実施学年】

第4学年(男子6名・女子12名)

第5学年(男子11名・女子12名)

第6学年(男子11名・女子9名)

## 【目的・ねらい】

### オリンピックの価値

○「卓越(Excellence): 目標に向かって全力で取り組むこと。体と頭と心の健全な調和を育むこと。」

○「友情(Friendship): 人と人との結び付き、相互理解を図ること。」

○「敬意／尊重(Respect): 互いに敬意を払い、ルールを尊重し、フェアプレー精神を育むこと。」を学ぶ。

## 【種類】

・各教科( 体育科 ) ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・ 特別活動

・教科以外での取組(                      )

## 【実践内容等】

### オリンピック、石黒由美子さんを招いての特別授業

2008年北京オリンピックにシンクロナイズドスイミング日本代表として出場した石黒由美子さんを招き、「あきらめなければ必ず夢は開かれる」と題した講演会と、シンクロナイズドスイミングを体験する特別授業を行った。

講演では、小学2年生の時に交通事故で大怪我を負い、重い後遺症に苦しみながらも希望を失うことなく努力し続け、オリンピック出場を果たした経験を聞いた。





特別授業では、プールで音楽に合わせて踊るシンクロナイズドスイミングの演技を体験した。石黒さんから、メリハリをつけ全身を大きく使うこと、友達の動きを意識しながら踊ることを指導して頂いた。石黒さんとの出会いを通して、子供たちは、高い理想を求め続けることの尊さ、仲間を尊重することの大切さを学ぶことができた。



その後、体育科の水泳の学習では、子供一人一人が自分の目標をもち、それに向かって毎時間練習に励む姿が見られた。



(実践上の工夫点、留意点等)

○オリンピックを招いての特別授業に関して見通しをもたせること。

例えば、講師のオリンピックに関すること、オリンピックの教育的価値に関すること。

○オリンピックを招いての特別授業(講演、シンクロ体験)を生かして、水泳指導を行った。(本事業で購入したプールフロアを用いて、スタートの練習を効果的に行った。)

(成果)

○講演及びシンクロ体験の授業を通して、オリンピックの価値である「卓越(Excellence)」、「友情(Friendship)」、「敬意／尊重(Respect)」について、子供達は実感を伴って理解することができた。

○2020年の東京オリンピックに対する関心が高まった。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

○本年度で、本事業2年が終わるが、今後も何らかの形でオリンピックの価値を学ぶ学習指導を継続的に行っていきたい。